

つなごう  
新潟のおもてなし

# 史佳 Fumiyoshi

Hotel Okura  
NIIGATA

新潟の心・平和の祈りを奏でる

更家 健吾

庄司 愛



高橋 竹育



扇 弥

2022  
6 / Sun 19

受付 11:00  
食事 11:30 / 公演 13:00  
会場 4F コンチネンタル  
料金 14,000 円 (食事・飲物・公演料  
サービス料・税金込)

主催 / ホテルオークラ新潟 協賛 / 新潟観光コンベンション協会

お食事 11:30 ~ 12:45  
お料理 フランス料理

総料理長 小島 淳がこの日の為だけに創作した  
フランス料理コースをお召し上がりいただきます。  
フォンとソースが一推し！お飲物とご一緒にお楽しみください。



※公演中のご飲食サービスはございません。 ※One Harmony 会員等各種割引の対象外です。

安全安心の「新しいホテル宴会様式」にご協力ください



食事中以外の  
マスクの着用



受付時の検温  
予約名簿管理



入退場時の  
アルコール消毒



ソーシャル  
ディスタンスの  
励行

ホテルの  
感染防止対策

- ・会場はゆとりあるレイアウトで3密を回避いたします。
- ・お席には飛沫防止用透明アクリル板を設置いたします。
- ・開場前に場内の換気と備品の消毒を行います。
- ・サービススタッフは全員マスクを着用しております。
- ・お料理とお飲み物はホテルスタッフがサービスいたします。

史佳 Fumiyoshi

新潟の心・平和の祈りを奏でる

## PROGRAM

1. 津軽よされ節  
史佳
2. 津軽じょんから節  
史佳 / 高橋 竹育 / 更家 健吾
3. 新潟民謡  
史佳 / 扇 弥
4. 越中おわら節〜こきりこ節  
史佳 / 庄司 愛
5. 神風・桃花鳥  
史佳 / 庄司 愛 / 更家 健吾
6. フィナーレ



ホテルオークラ新潟

〒951-8053  
新潟市中央区川端町 6 丁目 53 番地  
TEL025-224-6111(代)  
<http://www.okura-niigata.co.jp>

ご予約・お問い合わせ

ホテルオークラ新潟 営業部  
☎ 025-224-6166



### 史佳 Fumiyoshi 三味線ジャーナリスト

新潟市出身。三味線演奏家、芸術家、伝道師、キュレーター、執筆、メディアレポートなど三味線ジャーナリストとして多方面で活躍中。三味線瞬間芸術という独自の世界観を持つ、唯一無二の三味線演奏家。2019年新潟高橋竹山会三代目会主高橋竹秀を襲名。同年、新潟市内に F-space 三味線スタジオを建設し、三味線文化の普及、次世代情操教育を担っている。コロナ禍において、文化芸術が存続の危機に直面する中、アフターコロナの新しいスタイルでのコンサート開催の継続を実現し、様々な可能性を提唱、自ら検証しながら演奏活動を続けている。その才能は、2019年のカーネギーホールコンサートでも認められ、2021年10月2回目となるカーネギーホールコンサートでは、ジャズベースの神様ロン・カーター氏との世界初共演が実現した。



### 更家健吾 三味線

和歌山県出身。三味線プレイヤー史佳 Fumiyoshi の演奏を聴き、弾き三味線の音色に魅了され師事する。2014年、『史佳 Fumiyoshi 三味線 CROSS OVER LIVE』に長岡成貢氏作曲「神風（かみかぜ）」のツイン三味線で演奏家としてデビュー。2015年、ニューヨークにて海外初演奏。史佳 Fumiyoshi の三味線をしっかりとしたリズムで支える役割を持つ。ロック育ちの感性で独自の世界観を創り上げている。



### 庄司 愛 バイオリン

新潟市出身。ソロや室内楽、さまざまなジャンルにて演奏活動を行うほか、新潟市ジュニアオーケストラ教室、桐朋学園大学附属「子どものための音楽教室」、新潟中央高校等で後進の指導にも力を注いでいる。桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。これまでに山宮あや子、奥村和雄、辰巳明子の各氏に師事。2019年10月・史佳Fumiyoshi と共にカーネギーホールの舞台にて演奏。



### 扇 弥 古町芸妓

芸妓歴60年。現在も地方（じがた）としてお座敷を支える。古町芸妓の家に生まれ、1957年に芸妓デビュー。お得意は男踊り。歌舞伎舞踊の人間国宝 故・藤間藤子氏にも師事し歌舞伎役者坂東玉三郎着用の衣裳で踊ったことも。デビュー当時芸妓は200人以上。「芸の無い子はお座敷に呼んでもらえないのよ。」と踊りや唄の稽古に精を出していた。1987年、柳都振興設立以来地方にまわる。芥川賞作家の三浦哲郎が、芸妓・扇弥さんをモデルに、古町芸妓・雪弥を主人公とする悲恋の小説『熱い雪』を遺している。



### 新潟高橋竹山会

初代高橋竹山師の竹山流津軽三味線を正しく継承する会として新潟県内外を問わず活動し、現在は二代目会主・高橋竹育が100名近い会員を束ねる。2002年5月には第14回津軽三味線全国大会にて、団体戦A級第3位の成績。2001年、2004年にはハワイ・マウイで演奏会を大成功させ、2005年には念願のホノルル公演を実現、1500人を動員した。2006年には総勢60名の大合奏によるCD「ひとすじ」をリリース。2009年にはフランス・ナントでの演奏会も成功。2012年にはニューカレドニアの日本人入植120周年イベントに出演し好評を得る。2019年2枚目のCD「絆」をリリース。三味線の大会奏の数少ない会として注目を浴びている。

### 高橋竹育

竹山節本流津軽三味線の師匠、高橋竹栄（新潟高橋竹山会初代会主）に師事し、後進の指導力を見込まれ「竹育」という名を授かる。1994年に新潟高橋竹山会の二代目会主を継承。史佳の師匠そして母。竹山流三味線一筋に2021年には演奏活動46年を迎え、現在100名近くの後進の指導及び舞台上がり、史佳との親子共演も精力的に行う。女性らしいしなやかで哀愁のある音色に定評がある。

